

令和元年度

学校関係者評価報告書

評価対象期間

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

学校関係者評価委員会

令和2年3月10日

学校法人 琉美学園

琉美インターナショナルビューティカレッジ

学校関係者評価報告書

平成 25 年度の職業実践専門課程認可を受けてから本年度まで、より良い教育環境の整備と実践的な技能訓練の場を設置して参りました。

しかしながら技能の習得には未収軸な点もあり、その度改善をして参りましたが、技能向上には未だ結びつかないのが現状で有り評価委員の助言を取り入れた教育内容の改善が急務と思われる。

本年度は学校評価関係者のみならず美容実技教師の声を含み改善点を相互に検討するものであります。尚、本学園は引き続き学校運営の改善や教育の質の保証の強化に取り組んでいく所存です。

① 学校関係者評価委員

委員長	呉屋良昭	学校法人 琉美学園	理事長	
委員	大城米子	美容室ビューティエイト		代表者
委員	小橋川清美	美容室ニューウェーブ		店長
委員	屋比久進	有限会社サンビューティナイル		代表取締役
委員	仲川美佐子	琉美インターナショナルビューティカレッジ		教頭

② 評価基準毎の学校関係者評価

評価値	5	適正
	4	ほぼ適正
	3	やや適正
	2	改善必要
	1	不適切

1. 教育・理念 5

イ. 本学の学生については、美容師としての技術修得を目的とするだけでなく、社会人としての基本的なマナー、立ち振舞を学ぶことが出来ている。

2. 学校運営 5

- イ. 朝礼終礼など、職員間の連絡が密に行われ学生の管理状況を常に認識し合うなど運営管理が成されている。
 - ロ. 理事会・評議委員会を定例で行っており学校関係者に適切に状況の報告が成されている。
-

3. 教育活動 5

イ. カリキュラムの編成については、時代に即した内容を随時取り入れ、美容業界のトレンドや今現場で必要な内容を学ぶことが出来ている。
また、美容師法に則ったカリキュラムを遂行し美容師となるに相応しい教育を行っている。

4. 学修成果 4

イ. 昨年より行われているブライダルの授業カリキュラムは引き続き

行われている、令和元年度より知念紺範琉装学院と教育カリキュラム提携を行い沖縄だからこそ学べる琉装、うちなーからの授業を取り入れている。

- ロ. サロン実習においては県内外の複数のサロンにおいて実務実習を行っている。
- ハ. 美容師国家試験については平成 30 年度において受験者 9 名のうち 8 名が合格しており合格率 89%以上を持っている。
その他の検定においても、色彩検定、パーソナルカラリスト検定、ネイル検定等、卒業までに複数の検定資格を取得している。

5. 学生支援 5

- イ. 担任は就職について個別に対応しており計画的な就職カウンセリングを行っている。
就職担当より学内で県内外のサロン説明会を開催し学生が直接サロンスタッフ及びオーナーと話をし就職先の情報を得られるよう努めている。
- ロ. 学生図書室には過去の先輩が就業するサロン情報が閲覧又は掲示物を見て情報が得られるように成っている。

6. 教育環境 5

- イ. 就職に関しては、就職担当を設けており、県内外の美容室、また、卒業時に美容以外の進路に進むものにも適切にアドバイスができています。
- ロ. 海外研修については、グローバルな視点を持ち幅広く国内外で活躍できるよう毎年行っている令和 2 年度はシンガポールが予定されている。
- ハ. 新年度には、学生へのアンケートを実施し、授業・学校生活での問題改善に努めている。

7. 学生の受け入れ状況 5

- イ. 学生の募集活動においては、一定期間ごとに高等学校を訪問しパンフレットの補充及び進路指導担当者とのコミュニケーションを図っている。
 - ロ. オープンキャンパス時に、在学生在がスタッフとして参加し、オープンキャンパス参加者に対し手厚くフォローを行っている。
 - ハ. 奨学金など入学に係る費用を募集要項に適切に情報開示を行っている。
-

8. 財務 5

- イ. 財務状況は無借金など、負債が無く良好と言える。ただし学生減少に推移し今後の財政状況には少なからず影響があるので経費節約に努めて頂きたい。
 - ロ. 事業計画に沿った予算書の作成、長期的な学校経営が視野に入っている。
-

9. 法令遵守 5

- イ. 養成施設設置基準の要件を満たしており、学生個人情報の取扱いについては周知がなされており引き続き法令を遵守する。
 - ロ. 美容師法に則り、美容師となるに適切な授業が行われている。
-

10. 地域貢献 5

- イ. 地域貢献活動を学期毎に実施している。国際通りの美化清掃や地域での催事などでネイルケアやハンドマッサージのボランティア活動を行っている。
- ロ. 学内での喫煙を禁止するだけでなく、ごみ拾いを積極的に取り入れている。

全体的に適正な教育活動及び環境整備が実施されており、引き続き学生に対し適切な指導を行って頂きたい。年度ごとの情報開示を適切に行い法令遵守の姿勢を教職員全体として実施して頂くことが重要である。
以上、学校関係者評価報告といたします。

令和2年3月10日

学校法人 琉美学園
琉美インターナショナルビューティカレッジ美容本科職業実践専門課程